

## 体罰等不適切な指導に関するアンケート結果について

回答期間	2019年7月17日～12月10日
回答数	471件
回答方式	Googleフォームによる無記名式

※アンケート結果集約の関係上、類似の回答については多数の回答に含ませていただきます。また、頂戴したご意見の中で個人名、チーム名が含まれているものについては非公表とさせていただきますので予めご了承ください。その他は原文のまま掲載しております。

### 【アンケート集約結果】

#### ① あなたは選手ですか？保護者ですか？

選手	255
保護者	195
指導者	17
マネージャー	3
審判	1

#### ② カテゴリーを教えてください。

U12(ミニバス)	118
U15(中学)	58
U18(高校)	225
社会人	58
専門学校	2
大学	10

#### ③ あなた、またはお子様の性別を教えてください。

男性	255
女性	216

#### ④ あなた、またはお子様のチームの所属する地区協会を教えてください。

横浜	201
川崎	52
横須賀	28
湘南	58
平塚	22
北相	81
小田原	8
社会人連盟	21

⑤ —A 今年4月から今までに活動中、体罰はありましたか？

あった 30

なかった 441

—B どのような体罰がありましたか？(複数回答可)

ける 3

たたく(ビンタ) 7

どつく 2

なぐる 7

物やボールを投げる 18

暴言 13

その他 4

—C 体罰は何回くらいありましたか？

10回以上 16

5～10回 5

2～3回 7

1回 2

—D 体罰をやめるように言えましたか？

言えた 7

言えなかった 23

⑥ —A 今年4月から今までに活動中、暴言を吐(は)かれましたか？

吐(は)かれた 110

吐(は)かれなかった 361

—B どのような暴言がありましたか？

ばか 60

死ね 16

消えろ 15

その他 20

—C 暴言は何回くらいありましたか？

10回以上 57

5～10回 19

2～3回 24

1回 10

⑦ 今年 4 月から今までにパワーハラスメント(監督、コーチなど上下関係を利用してのいじめ、無視など)はありましたか？

あった 81

なかった 390

⑧ 今年 4 月から今までにモラルハラスメント(同級生や選手間でのいじめ、無視など)はありましたか？

あった 74

なかった 397

⑨ 昨年度以降、体罰や暴言などの不適切な指導は減少しましたか？

減少した 117

変わらない 318

増えた 36

⑩ U12 カテゴリーでチーム移籍が可能になったことについて、体罰等不適切な指導の減少に影響はあったと思いますか？

そう思う 78

わからない 284

思わない 109

⑪ コーチの暴言や振る舞いに対するテクニカルファウル適用等のルール変更について、体罰等不適切な指導の減少に影響はあったと思いますか？

そう思う 127

わからない 197

思わない 147

⑫ そのほかに伝えたいことがあれば記述してください。

OU12(ミニバス)

(保護者)

- ・U12 カテゴリー移籍申請書は不要のため即刻廃止されたい。選手の自由が全くない。選手がチームを辞めるのに理由を記載して移籍元チームに承諾をとり貴会に承認を得る必要がどこにある。移籍先チームが承諾し貴会に報告をすることとし、その報告日を新たな在籍期間の起点とし、その日の前日を前チームでの在籍期間の終点とすれば余計な手続きも不要となるのではないか。TeamJBA 登録料が年度単位ならば追加徴収もない。
- ・U12 カテゴリー登録運用細則第4条の廃止を求める。選手が所属したいチームを決める。チームは選手を登録させるかどうかを判断する。それ以外に選手とチームの行動等を締め付けるものがあるだろうか。安全に、無理なく、という表現はとても主観的で何をもって安全で、内をもって無理なくなのか。未だに学区の考え方を引きずり、指導者の質の向上を阻害することから、潔く廃止されたい。
- ・いい加減に小学校体育館のステージ上等の空間を児童、保護者に明け渡せ。指導者の利己的な姿勢には辟易する。夏場、冬場と、児童が屋外で待機をさせられるのはどう考えても筋違い。児童や保護者の健康維持を第一に考えよ。
- ・コーチが、試合中に暴言を吐くとテクニカルファウルをとられるようになったので適切な指導ができない、という趣旨の発言をしていた。暴言を吐かないと適切な指導ができないという考え方をしている時点で、保護者として残念に思わざるを得ない。

- ・コーチが新しい意見や指導法をたくさん受け入れて自分の殻に閉じこもった指導をやめてほしい
- ・コーチや保護者の子どもたちに対する熱い気持ちが、不適切な指導に繋がっている場合も多いと思います。真面目にスポーツに向き合っている素直な子どもたちが、期待の裏返しだということを認識するのは困難だと思います。貴重なお時間を割いていただく指導には、いつも感謝しています。ただコーチも保護者も子どもたちへ伝える方法や手段を工夫すべきだと考えます。
- ・このアンケートの結果が各指導者の耳に届いているのか？ 県ミニの総会での議案には載っていたが、各地区の協会でも徹底されているのか？  
 他チームではあるが、タイムアウト中に選手の胸ぐらを掴んでるシーンを見かけたり(審判も気が付いていたが地区の権力者の行為だったため見て見ぬふり)、ベンチからの暴言を吐いたコーチは後から”ベンチテクニカルを取られてもよかった”と軽率な発言をしたり(この時は会場のステージ上に居た他チーム指導者が審判に対しテクニカルを取るよう指示をしてましたが結果審判は笛を吹けず)  
 また、このようなアンケートを実施している保護者が少ないため、指導者はどうせ知らないでしょといった意識のようにしか思えません。  
 せっかくのライセンス制度を取っているが、まったく指導者に値しない人が多すぎる。人の話を聞く耳を持たない(子供には人の話を聞くように言っているが)、監督・コーチ間で決めた約束事を平気で破る監督。その場限りの思い付きで発言をするため、言動が一致しない監督。月1ペースで、オレはもうこのチームを指導しない勝手に練習でも試合でもやれと言って練習から帰っていく監督。試合も見えてないのに、なんなのあの試合はと子供達に言い放つ監督。相手チームのいる前で、あんなチームに何点取られてるんだと大声で言い放つ監督。練習中気に入らない事があれば大声を上げて子供に詰め寄り至近距離で暴言を吐く監督。活動費用として集めたお金で他チームとの懇親会に参加する監督。ミニバス指導者の5つの心得なんてまったくもって無視されてます。実名上げればライセンス剥奪等の処分はしてくれるのでしょうか協会は？
- ・チームとしての休日がなく、次々と試合が入ってきます。子供の成長を考え休息日をという話をしても「休みたい人は休めばいい」と言われてしまいます。いざ休むと「練習休んだから試合には出さない」というプレッシャーをかけられます。でも人数が少ないのでレギュラーの子たちは休んでも結局試合に出場しています。やる気を出すための叱咤激励なら構いませんが、脅しのようで具合が悪くても無理をして練習に参加する子も出ている現状です。そして子供たちは休むことがまるで「悪」という認識になってしまっています。親として先もまだまだ長いバスケ人生のスタート地点、楽しく取り組んで欲しいと願っています。
- ・チーム登録と移籍における限定的な登録並びに移籍条件は即刻廃止されたい。児童に自由な機会がなければ業界の発展はない。限定化廃止の動きが遅ければ、児童の貴重な時間は奪われ、質の悪い指導者により、児童への良質な健全な普及啓発の機会が奪われる。喫緊の課題として貴会にあっては取り組まれない。
- ・未だに志望者を囲い込むこととなり指導者があぐらをかく原因。志望者に自由がもたらされれば不良な指導者の指導機会が減少し淘汰に向かうと考える。会場となる小学校は、利用する方々が当該小学校の児童か当該地域の方々か、またその人数は何人か、という属性とその利用者数が気になっているところだが、児童の減少と生涯スポーツの推進の観点等から、広い区域での地域振興ととらえなければならない。貴会目的達成のため、関係機関との交渉、調整にあたられ、環境整備にも尽力されたい。
- ・どのチームの監督も試合中にエキサイトして檄を飛ばすので、そういうものだと思ってましたが、選手が萎縮している場面も度々見受けられます。  
 保護者としては、後々の試合出場などに影響があるかもしれないと思うと指導方法については強く抗議し辛いので、ミニバス全体の方向性として見直すようにしてほしい。
- ・トラベリングについて、ミニでは違反で高校では違反ではないことが、ウィンターカップを見てもわかる。審判はどこをみているのか。協会は統一的な適用を謳っても、現場では曖昧になっている。これでは普及しない。審判の質向上を求める。

- ・バスケットを楽しむ・学ぶ為のミニバスがお山の大将で子供に日々罵声・物を投げる・無視・暴言が多すぎて子供が精神疾患になるのではと不安です。一度始めて娘が体育館から大泣きで辞めたいと出ていき号泣しめしたが、選抜に選ばれるには辞めれないという現状に置かれ今まで頑張りましたが、変わる事なく苦しい状況です。公式戦でも罵声などあるのになぜほかのチームの監督やコーチなどみんな見て見ぬ振りなのでしょうか？もっと声を上げる必要があると思います。因みに川崎市ではそういうので有名なチームです。
- ・ミニバスだけではなくですが。体罰はもちろん、小学生への精神的な追い詰めはよいとの判断なのでしょうか、疑問です。
- ・ミニバスの試合の場合、審判とTOは各チーム持ち回りで担当していますが審判も人間ですのでミスはあります。そこに各チームの監督やコーチからの暴言は見ていて恥ずかしいです。チーム同士が顔見知りだからか分かりませんが力のあるチーム(暴言の多いチーム?)の顔色を伺いながらでは審判も萎縮してしまいます。強く言った者勝ちで勝敗が決するのでは八百長と同じではないでしょうか？
- ・ミニバス間の移籍が自由になったとはいえ、コーチ同士の上下関係により、立場の強いチーム(コーチ)から立場の弱いチーム(コーチ)への移籍にはやはり壁があります。大人同士の関係により、移籍を希望しても受け入れてもらえない場合もあります。(現にありました。難色を示されるなど。)そういう、見えない圧力みたいなものを無くさない限り、移籍問題もなくならないと思います。
- ・ワールドカップにおける日本の惨敗を見れば明らか。指導者がいけしゃあしゃあと、でかい面して指導しても結局そんなもの。貴会が積み上げているものが誤っていることを認め、組織を解体せよ。全く無意味。
- ・移籍について、選手がチームを辞めたいとなったら当該チームの承諾なしに辞められる。当たり前のこと。選手が移籍先となるチームに所属したいとなれば当該チームが所属させるさせないを判断する。当たり前のこと。移籍先チームが所属を認めた際は貴会に移籍元はどのチームだったかを報告すれば選手の移籍元、移籍先は明らかになる。移籍元の承諾は一切不要のため即刻関係規則の廃止、申請書から当該欄の削除を求める。前回のアンケート結果を見れば、選手、保護者ファーストの追求は当たり前のこと、前述のような措置をしなければいけないのは明白。即座に対応されたい。
- ・移籍は可能になったが、地区では移籍した人がいたということが聞いた事が無い。移籍制度が末端の保護者まで伝わっているのが疑問。他の保護者に聞いたら間違った移籍ルールを伝えているチームもあり、制度自体機能してなく、まだ我慢して活動している人もいる。もっと末端まで伝わる方法を考えるべき。
- ・俺のやり方に従えないなら辞めろと保護者に言う。特定の保護者と二人だけで会おうとする(酒を飲む)。断ると子どもに強く指導すると言う。
- ・会場校へのアプローチとして、指導者による車またはバイクでの乗り入れは許可されているものの、保護者、選手による車またはバイクでの乗り入れは不可となっている。後者を不可としているならば前者も不可とすべき。指導者が選手よりも立場が上になることは絶対にあってはならない。勘違いも甚だしい。即刻改めよ。
- ・監督・指導者の暴力・暴言を容認してしまっている親御さんもいます。  
また、一緒になって怒鳴る暴言を吐く親御さんがいるのも事実です。  
怒った所でプレーは上手くなりませんので指導ではないですね。  
特にミニバス年代は怒られる事により萎縮してしまいプレーへの影響は大きいと思います。監督・指導者への指導も厳しくすべきでは？  
また、暴力・暴言の通報があったチーム名は公表すべきだと思います。
- ・監督からの恫喝はなくなりました。但し、子供は監督のことが嫌いです。
- ・監督本人や、監督の子供たちよりバスケットの成績が良かった保護者が気に入らない為、その保護者の子供に八つ当たりする。暴言を吐いて、その子供が上手になる事を阻止する。人間が腐っている監督です。

- ・貴会、貴連盟の役員の構成について、保護者または県民、市町村民からの選出数を過半数以上となるよう求める。アンケートやメール等により意見等を収集するのではなく、貴会、貴連盟の目的達成には、理事会等に保護者または県民、市町村民の意見等を組み込み、指導者らの専門的知識、技術と融合させることが不可欠。保護者、市町村民なくしては貴会、貴連盟の目的達成は成し得ない。すみやかに対応するよう求める。
- ・貴会による指導者の監視のため、貴会による毎試合録画の義務付け。試合中、試合後にかかわらず体罰等不適切な指導を犯した指導者を即時除籍すること。貴会所属チームでの活動中も指導者を監視すべく、貴会、保護者による秘密裏な巡回と録画の義務付け。
- ・協会が抜き打ちでミニバスの大会や練習試合等を見にきて、指導者に直接イエローカード、レッドカードを渡すのも1つの手だと思います。  
怒鳴るスタイルは昔のスタイルです。  
それが原因でうちの子供はミニバスを怖がって辞めました。  
将来続けていけば日本を代表するような可能性を持つ子供達が、一人の怒鳴るコーチのせいで何人もバスケットを辞めているのが現状です。  
それが日本でバスケットが広がらない原因でもあると思います。  
ミニバスの時は、楽しく技術を身につけて中学バスケットの準備をする期間であって欲しいと願います。  
継続は力なり。
- ・教えるといった指導もしないでプレーその物をバカにする言い方だったり、泣くまで何だその顔とか言って試合中やりたくても出来ない  
勝ちだけ考えてミニバスと言うスポーツをもっと考えて欲しい  
指導者の飲み会に団費を使わないで欲しい  
親をバカにする言葉もあるのでやめて欲しい
- ・言葉の暴力は相変わらずひどい。連盟からは通達があるが指導者には浸透していない。具体的なペナルティを考えた方がよい。
- ・公益財団法人が金を集めて事業を行ったとしても所詮世界の舞台でみっともない姿をさらしている。大人がシュートしても決まらないのだから子供が入らないのを叱責する指導者は自身を棚に上げていることに他ならない。即刻現指導者らを排除せよ。
- ・子どもの所属しているチームは JBA 登録をしていません。それによって子どもが上を目指したくても(県選抜など)目指せないでいます。私は規約なども読みました。なぜ、登録しないでこのままで今現在いいのか、それが私にはわかりません。このままではチーム移籍しかないように思います。できれば今のチームでミニバスを終えたいと思いますが、上を目指したい子どもの気持ちを思うとどうしたらいいのかわかりません。  
我が子は B リーグに憧れ、いつか選手になりたいと日々一生懸命練習しています。  
ぜひ子どもたちが平等に上を目指せるような環境を願っています。
- ・子供に対し、言葉を選ぶ事もなく、その場の感情に任せて暴言を吐くのは、人格否定=人権侵害です。  
言葉による暴力は体罰同様、絶対に許されてはならないと思います。  
ぜひ試合や、不可能かと思われませんが普段の指導を抜き打ちで見回りして頂きたいです。  
本当に言葉の過ぎる指導者がいることで、深く傷付いている子供がいます。
- ・指導者が気に入らない子供を無差別でいじめるので、子供達もそれを真似し、いじめるようになった。
- ・指導者が選手、保護者に怒鳴る。協会の目的に反していると考え。勘違いも甚だしい。主役は選手・保護者であり、決して指導者ではない。協会は目的達成のためにこういう指導者を追放し、常に低姿勢を貫くべきと考える。
- ・指導者による利己的で高慢な指導をする方がほとんど。他の業界を見渡してもこれほどの発生率はない。即刻追放されたい。

- ・指導者の立場を利用して、保護者の愚痴を言う人がいる。  
役職的な立場で、試合中に忬度がある。
- ・指導力不足を棚に上げ他の所為にする方がとにかく多い。責任を取れない姿勢は貴会による過去からの指導の賜物か、バスケットボールというスポーツの特性によるものか。今すぐ指導者を追放して下さい。
- ・試合会場として小学校の体育館を使用する際、全ての場合で指導者が保護者が準備した椅子に踏ん返り返って座り、机には保護者が準備した飲物等をひろげ試合を眺めている。選手は屋外に追いやられ待機等を強いられる。即刻、ステージ上を選手や保護者、関心のある児童等に明け渡し、バスケットボールの発展に寄与されたい。
- ・試合中、テクニカルファールを取られたチームに対して、試合後に監督・コーチへの指導してほしい。「俺は完璧に審判出来る」と、勘違いしている監督・コーチがいて、テクニカルファール取られても、まったく反省が無く「テクニカルファール取られたのは、お前達のせいだ」と監督が暴言を吐くので、チームとしては監督・コーチが酷すぎるので、子供たち同士のいじめが絶えない。
- ・児童、保護者は屋外で待機、指導者は小学校の体育館のステージ等で涼をとりながら、椅子に踏ん返り返って待機。児童、保護者ファーストを求め、指導者の屋内、ステージ等からの追放を求める。
- ・児童の拘束時間は多くても半日とするよう求める。平日も忙しく過ごす児童には息抜きが必要。休みの日に指導者に理不尽に怒鳴られるのも悲惨。練習等の時間が指導者の都合で長時間に設定されている。貴会統一方針で長時間拘束を禁止されたい。
- ・女性コーチの子供達に対する理不尽な立居振舞、意味の無い無視、暴言。  
ミニバスに興味が無くなり辞める理由に子供達をあげつらう態度。  
12月に辞めると言っていたが子供達の為に一日も早く辞めて欲しい。
- ・審判は暴言を吐いているコーチに何も言わない
- ・川崎でも1番常識のないチームと知らず低学年の時に入部しました。  
殴る蹴るは女子にはしませんが、その分セクハラを日常茶飯事。試合となれば罵声・暴言など、法でも捌ける内容ばかり。酒をランチで呑んで試合のベンチに入ったり、練習時でも泥酔で来たら、ランチで酒を飲んだり。車に乗ればボンネットの所に足を乗せマナーはないし、それが日常です。  
試合が年間80くらいやっているのだから、あちこち行ってその状況を見てもほかのチームの大人は誰も助けません。  
見て見ぬ振りです。  
親が監督に物申せば子供に当たる。奴隷です。  
前回のアンケートから時間も経っているのに、連盟すら動いてないのはむしろ同罪ではないでしょうか？
- ・川崎地区では、体罰、パワハラ等見聞きしてません。
- ・選手・保護者は、協会が養成、育成した指導者に、気分次第で怒鳴られたり、使われてたりするのは大きな間違い。協会がそれを容認しているのであれば直ちに考えを改めるべき。尊重すべきは選手・保護者の意向であり、決して指導者ではない。選手・保護者等による通報により、指導者・審判員の追放する制度を確立されたい。
- ・選手の暴言がひどい。仲間とはなんなのか考えてしまう。
- ・息子のチームは指導者が全く指導してくれません。子供達だけの練習で何かあった場合は全てキャプテンの責任で暴言を吐かれます。コーチは試合に来て暴言を吐くだけの方です。試合でミスをした選手には試合中自分のマッサージをさせます。普段から良い指導者なら何とも思いませんが、酷い扱いをされ続けてきているため、子供達のそんな姿を見ると下僕のような扱いをされている気持ちになります。また、男子は弱いから連れて行くのが恥ずかしいという理由で練習試合さえ組んでももらえません。バスケが大好きな息子ですが、精神的に辛くなってきてしまい、バスケが嫌いになってきたと言うようになりました。移籍も考えましたが、6年生であることと、年末までの公式戦の登録が済んでしまっているためできそうにありません。
- ・他チームの指導者で未だに暴言や強い口調で罵るのを見えています。一番届いて欲しい所に届いていない気がします。

- ・体罰、暴言をとめられない環境がどうかと思う。もはや、子ども主体のバスケットではない。勝利至上主義で子どもが可哀想だ。
- ・体罰等不適切な指導を犯す指導者が排除されない状況に鑑み、即刻、貴会所属チームすべてについて登録を継続させるかさせないかを、貴会が審査し、通過したチームを所属チームとせよ。審査は当該チームの過去の試合、練習試合、練習の録画のみとし、保護者が提出するものとし、体罰等不適切な指導と判断された場合は、その指導者を退会させることでのみ登録を可能とせよ。
- ・保護者に対するセクハラ。酔って触ってきます。抵抗すると更に増します。子供の為に我慢するのも限界です。
- ・暴言、暴力はないですが、子供たちの練習の内容で、やる気が見られないときに帰れ！出てけ。ということは度々ある。何時間も練習をさせてもらえず、立たされたままの子供が数人いて、その中で、残りの子供たちだけ練習をしているときがある。  
子供たちが勇気をふりしぼり、練習やらせて下さい!と頼んでも、無視。虐待では、ないかと思う。  
暴言、暴力だけが、問題になりやすいが、モラルハラスメントではないか...
- ・暴言がひどいので何とかして欲しい
- ・暴言とまではいきませんが、強い言葉は大会などで散見されます。  
ただ、その全てが悪いかと言われたらそうではないように思いますが。
- ・暴力的地域の子供が移籍してきた。「前はこうだった」と暴言暴力、練習の邪魔が止まらない。注意をすればしばらくは落ち着くが、時がたてば再開。  
退団を促せば「子供がやりたがっているから、親が見るから」と逃げる。  
指導者は、時折注意するも「メインはバスケットを教えることだから」と多々、見逃す日々。子供はバスケットを習いに行っているのに身の安全を気にしなければならず、これも間接的な暴力かと思ってしまう。  
また、移籍する前に理由を開示させ、団にも受諾の自由が欲しい。  
指導者の暴言暴力だけではなく、子供発信の暴力で、指導者が他の団員を守るためにやむを得ずに暴言を言っている可能性が見えてきたので。指導者ばかりを悪者にしないでほしい。  
今、団は悪い風が吹いている。  
本当に迷惑している。
- ・毎年のように保護者からコーチの暴言についての相談をされます。  
これぐらいはスポーツだから仕方ないのかなとか、テレビに出てくる程酷くはないからとか、何が良くて何がダメなのか相談されていてわからなくなります。  
他のチームの保護者とコーチの話をするると似たようなチームもありますが、連盟も把握しているくらい有名だと思います。  
指導者がいなくなるとバスケットが出来なくなると思うと声をあげるのに戸惑います。強い子はへこたれませんがそうでない子は萎縮してどう動いてよいのかわからず楽しめていません。  
子供が楽しくのびのびとバスケットが出来る、そんな指導者だったら我が子も違っただろうなあとも今でも思います。
- ・例えば 9 時から 17 時までというような長時間の練習または断続的な試合、TO の禁止を求める。児童の体力、集中力は長続きしない。所属地区にはそのような長時間活動を強いるチームがある。疲れた体には免疫力も低下し体調を崩しやすい。
- ・連盟役員でもある指導者と言えども、指導力不足を棚に上げて、怒鳴り、叱責するのを見かけます。貴会は何をしたいのでしょうか。徹底的に質の悪い指導者を排除すべく、貴会は毎試合録画することを義務付けて、貴会並びに保護者が指導者を監視することとし、試合中、試合後にかかわらず暴言等を犯した指導者を即時除籍すること。また暴言等を犯す指導者の温床となる所属チームでの活動中も指導者を監視すべく、貴会による巡回と録画を、指導者には内密に行うことを義務付け、暴言等を犯した指導者を即時除籍すること。これを半年間以内で所属チーム全てに実施し貴会



に所属する指導者の8割を排除すること。また半年以内に、練習試合、公式試合への審判派遣制度を確立し、排除した指導者が担っていた審判の役割を完全に補填し、選手の活動に一切支障をきたさないようにすること。

(指導者)

・移籍が、可能になった事でコーチに暴言を吐き、親の主観的な考えで移籍先を探している親子がいる。

(選手)

・なんで大人は選手がイジメられてるのも指導と言うのですか？もっとバスケットを楽しみたいです

OU15(中学)

(指導者)

・体罰の定義は難しいです。状況を考えた言葉(愛情ある「アホ」など)を使ったことはありますが、生徒の受け止めが大切であるでしょう。一方で、保護者の過度な、時には理不尽な言動に対して、何かしらの対策(講演会など)をとる必要もあると考えます。学校の部活動の位置づけとクラブチームのものとは、根本的に異なる部分があります。保護者対応をご一考して頂くようお願い申し上げます。

(保護者)

・お気に入りには試合で使い、気に入らない選手はボール管理を「お前達がやれ」と強要するらしい。代々、後輩がやってきてははず。

・この様なアンケートがある事を知りませんでした。

子供は現在中学生ですが、ミニバス時代の事をどうしてもお伝えしたくアンケートに記入させて頂きました。

体に対する暴力はありませんでしたが、いつも怒鳴っているコーチでした。

暴言は多々あり、子供へは勿論、見学に来ている母親の事もばあと呼んでいました。

コーチは、親しみを込めてのばああ発言かもしれませんが、何のコミュニケーションも取れていない時にいきなりばああと呼ばれるのにはビックリしました。

スポ少と言う団体がどの様な事を目的に運営しているのか疑問を持つ様な事ばかりでした。

バスケットをやりたくて体験に来ている子を見て「こいつは使えなさそうだからいらぬ」「これは運動神経が良いから誘え」等...やる前からチームにすら入れないのか、と、耳を疑うものでした。

テキパキ出来ない子に荷物を何処に置くか、次に何をするか説明をただけで「お前は幼稚園の先生か、だから子供達をダメにする」と言われた母親もいます。

又「あいつは発達障害があるからほっとけ」と医者でも無いのに勝手に発達障害と仲の良い母親に言ったり。

子供達にイジメを容認するような行動。

何より、スポーツマンなのに挨拶が出来ない方でした。

子供が挨拶しても親が挨拶しても素通りです。

それなのに「オレはしなくていいけど、お前達は挨拶をしっかりしろ」と手本にもなろうとしません。

ミニバスでの影響はその後の中学の部活でも続き、自分のお気に入りの子は中学生になっても指導し、顧問の言うことは聞かなくて言い、どうせ中学の顧問はダメだから...と子供達にも親にも言っています。

なので、部活崩壊はしましたし、チームプレイなのにチームメイトを虐めたりと散々な部活になってしまいました。

親同士も、自分はコーチの後ろ盾があると思うのか、レギュラーになれない子をバカにしたような発言もします。

この様な方にコーチをお願いしている事をどうお考えになるのでしょうか？

何かと言えば「オレはボランティアだ」と言い、高学年になると毎回全ての時間親に体育館にいるように言います。

以前のコーチは、子供達との触れ合いを大切にしてくれ子供達との食事会にも参加してくれましたが、そのコーチは子供達とは1度もありません(我が子が所属している時には見た事はありません)逆に親との夜の飲み会は盛んでした。

遠征に行った時にも、よその子を乗せる緊張から早く休んで体調を整え、子供達の安全を第一に思っている夜の

飲み会は強制でした。

これで、事故が起きてしまった場合誰が責任を取るのでしょうか？

まだまだありますが、長くなりますので終わらせたいと思います。

これは3年前に私が見た事です。

・テクニカルファールは適用されていないのでは？

審判から注意らしきはあったが、結局、コーチ、選手に対しテクニカルは取られなかった。

特に小田原地区のある中学の選手はひどいまだ2年だと思うので、顧問含めて考え直して欲しい。

・バスケットが楽しく、そしてやってよかったといえる環境づくりをおねがいしたいのです。どうしても勝ち負け(ゲーム)になると暴言などが多いと思います。中学の大会はほとんどが一発トーナメント形式だと思います。日程や審判の関係でしかたのないことかもしれませんが、ジュニア期においても勝ち負けにこだわらない大会運営ができれば、バスケットが好きな人がふえていくのではないのでしょうか。また、審判のワッペン持ちの下位ワッペンに対するパワハラが多くみられます。あれでは育ちませんし、やりたい人も減るかと思います。日本一丸でバスケット最高といえる環境づくりを。

・ミニバスでは横浜市中部地区では当たり前。全員の前でお前のせいで負けたなど、怒鳴るのは日常

・ミニ時代にコーチからの理不尽な指導により、バスケット自体が辛くなりました。時を経ても消えることのない事です。プレーに対しても消極的になり、頑張ろうとするとミニ時代を思い出してしまう。

やり続けたくても辛いようです。

コーチはなにも感じていないでしょう。悔しくなります。

・怪我をしても怒られるのが怖くて、言い出せず隠しながら部活に行っている状態。

大事な試合前に怪我をするのは意識が低いからだと言われ延々と怒られる。

・公式戦中、他校の監督が相手チームに対して威圧的な発言があった。パワハラを感じた、

・小田原協会の女子中学生の公式試合において、コミッショナー不在の試合はマンツーマンが全く徹底されていない。

公式戦でゾーンプレスを仕掛け、160点取得を目標にする指導者もいる。ルール違反、ポリシーに異論を唱える関係者もなく、全体的にバスケット指導者としての資質は低い。

・審判のファールの取り方を統一させて欲しいです。

かなりばらつきがあり、試合に影響しているように思います。

鼻唄があるように見えます。

・他校の指導者で暴言を目にしたことが何度かあります。見ても不愉快だし威圧的な態度が非常に気になりました。

以前に比べて減ってはいると思いますが、まだまだ暴言をはく指導者は居ります。

・単純に考え、いえば、信頼関係がなければ、不満に思うし、パワハラだとか、暴言とかになることもある。

信頼関係が築けていれば、大丈夫な時もある。

アンケートを取っても、自分なのでは？と気がつかなければ、話にはならない、そういう人に限ってアンケート調査も知らないし、気にしないと思う。

もう3年前になるが、ミニ卒業の時に、うちのチームに所属していたということを今後、恥ずかしいからいつか知らせてくれるな。と言われた子供。

それまでも暴言とかはあったが、それでも指導者を信じてやってきたけど、その言葉で全てのものが崩れ落ちた。でもその言葉を発した方は忘れていて、気にしてない。そして、いい成績を今も残す後輩達に表向き、都合のいいように褒めたりする。そんな偽善者に指導してもらっていたなんて在籍していた6年間もつたいない過ぎると思った。

今そのチームに在籍している後輩達の中にも、同じような思いをする親子が出てくると思うと、残念でならない。試合結果、個人のスキルアップをだけがすべてではないという指導者。

うそつけ！と私と子供は思っている

- ・中学部活顧問の暴言がひどいが、学校は取り合わない。ニュースで報道している問題の暴言と同じレベルの暴言を吐いていて、実際に体調不良により退部したメンバーもいるのに、なぜ対応しないのか。子供が自殺しないと真剣に対応しないのか。
- ・同級生からの暴言、イジメをなんとかして欲しい
- ・部活動の顧問や指導者は指導者ライセンスがなくても出来てしまう体制を変えてもらいたい。

## OU18(高校)

### (選手)

- ・コーチや監督の暴言により、選手のプレイに制限がかかり、本来の実力を発揮できないことがあるため、試合中、コーチや監督による、ハラスメントを厳しく取り締まって欲しい
- ・怪我をしても休むと言にくい環境です
- ・監督のせいでバスケが嫌いになる人もいます。そのような人が出ないようにしてほしいです
- ・休む事が罪という思想の指導者が多すぎる。法事やオープンキャンパスであっても休みづらく、学校行事も満足に参加できないのは、おかしいと思う
- ・試合時以外でも監督やコーチ、顧問の暴力、暴言、ハラスメントに対して協会からのなんらかの罰則規定を設けていただきたい。学校には心理的に相談しにくく、客観的な判断が困難なため、協会に事実確認から罰則などを含め第三者の視点から判断を下していただきたい。その際の判断基準もルールとして事前に決定していただきたい。
- ・良い先生です

### (保護者)

- ・いつも熱心に指導してくださって感謝しています。社会のルールや人としてのマナーをバスケと同じくらい指導してくださる先生には感謝しかありません。一部の心ない人のせいでバスケット界のイメージが損なわれるのはダメだと思います。
- ・パワハラのトラブルは先生止まりで訴えは流され、隠されてしまいます。  
ほとんどの部員が同じ意見で退部したいと、訴えはありましたが  
顧問の先生からの解決策は話は聞きました、  
辞めたい奴はやめていい。と言われ、残る奴は残ればいい、という形で、どうにか数人が部活に残ったので、  
バスケ部のトラブルとしては扱われませんでした。  
毎年同じような状況らしいです。  
表にはブラック部活とわからない状況です、どうにもならない現状で、  
パワハラの相談する場所がわかりません。
- ・下から2項目の質問が断定的すぎて答えようがない。  
最後の質問もテクニカルファウルと体罰との因果関係がよくわからない  
一方的なアンケートのような気がします。もっと、実質的に子供たちに寄り添った質問をしてほしい。
- ・顔を縫うほどのケガをしても接触するスポーツだから安全対策は取れないと言われた。ケガをした時も夕方で病院が見つからず途方に暮れ、やっとのことで診察してもらい、帰宅が23時位になり大変な思いをしたが、当日も翌日も状況確認の電話一本よこさなさかった。
- ・期待してない学年への対応がひどすぎる 指導はなく、けなすことばかり。聞きに行っても無視。辞めさせることばかり考えています
- ・強豪私立高校による、バスケ推薦者への顧問による鼻屑、暴力の隠蔽、差別により退部へ追い込まれました。
- ・脅迫のような発見は指導者としてどうなのかと思う。学校ありきの部活動では？
- ・顧問が外部コーチを嫌い、  
子どもたちの前でも態度に出す。

子どもたちもまた意地悪してると気にしている。

子どもたちは、外部コーチ習いたく、信頼している。

学校の先生がそんなに偉いのか。

顧問を中途半端に学校が守るのはおかしい。

悪いことは悪いとしっかりしてもらいたい。

- ・顧問が無気力で、練習試合も、部活動の練習も非協力的で困っています
- ・子供たちがミスをして、それを怒るのではなくけなして無視する、弁明も解決策の提案も無視する。それが教師のやることですか？暴言を吐かなければ訴えられないと思っていませんか？どうせ訴えたところでもみ消すんでしょうけど。
- ・指導者が生徒の暴言を、野放しにしている。このアンケートが、生きてくるのかなあ？
- ・指導者の中には、バスケを理解していない方もいる。また、個々に合わせた指導が難しいのか、子供が無理をして体の不調を訴えているが、現場には反映しない。例えばウォーミングアップの時間を十分に取らずトップスピードの練習メニューをはじめなど。
- ・先生の生徒のお気に入りがある。  
平等ではない。
- ・他校(ミニバス、中学も含む)を拝見していて、監督の威圧的な発言が多い競技との印象があります。また、練習時間や休日、怪我に対する対応も古い体質と実感してきます。協会が主体となって改善されることを望みます。
- ・体罰体罰うるさい。  
親が出てきすぎだからダメなんだと思う。
- ・同じ会場にいて行き過ぎた暴言を目にしても、注意し合う事すら出来ない指導者達。恥ずかしくないのでしょうか。人としてどうなのか良く考えてください。そんな暴言吐くような、かばい合うような方々はこの結果を見もせず気にもしないんでしょうが。
- ・部員数が、多いチームに入部すると、出場する選手が、限られてしまい、試合に全く出場できない選手も、でてくる。  
サッカーの、ようにカテゴリーを、増やし  
1部、2部、3部のように、公式試合のカテゴリー数を、増えることを、望みます  
全ての、選手に、成長できるチャンスを、与えてほしい
- ・暴言を吐いた顧問に自覚がなく、アンケート後も全く何も変わらない。特に年長者の顧問が何がパワハラになるのか講習を受けてもらいたい。そこが全くわかっていない、本人に伝わらない以上アンケートを実施する意味があるのか甚だ不明。形だけならやめるべき。
- ・暴力だけではない。  
起伏の激しさを訴えても顧問は外されず、まだ健在。  
表にでてこなくても陰で自分は悪くないと主張している。  
協会にもメールしたが、返信すらない。  
心の傷と表に見える傷。  
どちらの、ケアも必要なはずなのに。  
保護者を嫌い挨拶もしない。  
楽しい部活が大人の都合で台無し。  
顧問を選べるようにしてもらいたい。  
問題あるので即刻変えてもらいたい。

## ○社会人

### (選手)

- ・20年前は酷い体罰を顧問の先生がしていたが、その先生も今や体罰はしていないそうです

- ・ミニバスを見たりすると年配の方の暴言が多い気がする。他のチームなので口出しはできないが、父兄も従わざるえない状況に見受けられる。大会等身内をかばわない体制で協会の体罰担当が見回り指導する。なあなあにならないようにするなど内部からの厳しい姿勢が必要ではないか。
- ・体罰が無くなることは無いと思う

○大学

(選手)

- ・中学時代は他チームではあるが試合中に暴言を大声で吐きまくる先生がいた。現在はどうなっているのか気になる。

(指導者)

- ・先日ミニバスの活動で体罰を目撃した。
- ・別の団体での体罰を目撃した。

**【カテゴリー別集約】**

U12(ミニバス)	回答総数	118
	体罰があった	15
	暴言があった	53
U15(中学)	回答総数	58
	体罰があった	9
	暴言があった	20
U18(高校)	回答総数	225
	体罰があった	6
	暴言があった	32
社会人	回答総数	58
	体罰があった	0
	暴言があった	4
専門学校	回答総数	2
	体罰があった	0
	暴言があった	0
大学	回答総数	10
	体罰があった	0
	暴言があった	1

## 【指導者の暴言・暴力・過度な負担に関わる緊急提言】 JBA U12 部会報告より

過日行われました全国部会長会議で全ての報告・協議に先立ちまして行われたのが、JBA 裁定委員会委員 合田雄治郎氏(弁護士)によります「暴言・暴力等の防止に向けた取り組みについて」と題しました講義です。

これにつきまして、山本副部会長より、「暴言・暴力等について、バスケットボール競技は、日本スポーツ協会に寄せられるクレーム件数が、他の競技に比べて非常に多い。危機感をもって改善に取り組むべきだと考えている」と説明がなされました。「本件は、緊急かつ最重要課題であることから、本日は JBA 裁定委員会委員であり、日本スポーツ協会の相談窓口も務められている合田先生をお招きし、暴言・暴力等の防止に向けた取り組みについてお話しいただきますので、皆さんも理解を深めていただきたい」と伝えられました。

そして、JBA 裁定委員会委員である合田雄治郎氏より、「スポーツ指導における暴力等不適切行為について」の実態および起きた際の対応について、事例を用いながら説明がなされました。

主な内容は以下の通りです。

- ・現状として、日本スポーツ協会に寄せられる苦情件数はバスケットボールが最も多く、中でもミニバスに関する件数が大半を占めている。
- ・暴力が許されないのは違法だからである。
- ・同意があれば許されるとなれば、子供は同意せざるを得なくなる。本人や保護者の同意があった場合でも、暴力は許されない行為である。
- ・指導者の不適切な行為に対する損害賠償額は 3 億円以上になることがある。
- ・体罰は懲戒権をもっているもの(=教員)の行為であり、教員以外に体罰はない。すなわち、体罰ではなく暴行である。(もちろん、体罰も違法である。)
- ・厳しい指導=厳しい練習ではない。指導者が達成すべきは、スポーツの楽しさを教え、自立したアスリートを育てることである。
- ・ハラスメントは行為者の意思ではなく、受けた相手が嫌だと感じれば成立する。指導者と競技者には上下関係があるので不適切な行為はパワハラにあたりと考えられる。
- ・いじめは絶対に静観しない。いじめられている子供から話を聞くことが先決である。
- ・もしも起こってしまったら、JBA 規程に則り、JBA 指導の下、都道府県協会が調査、裁定委員会案件となる。警察への被害届が出された場合は、警察の調査(捜査)となる。警察が調査しない部分に関しては、都道府県協会が請け負う。いずれも、調査内容を裁定委員会が審議、処分を下す。
- ・違法行為となれば、訴訟において訴えが認められることはない。

最後に、吉田部会長より、現在、JBA としても制度的にまとめているところであり、12 月に行われる JBA の理事会承認後に都道府県協会に展開し、来年度から実施していきたいと説明がなされました。

また、現状で何か事象があった場合は、都道府県協会へ報告を挙げていただくとともに、何かお困りの際は、遠慮なく JBA に相談してほしい旨の補足説明がなされました。

以上の内容から、日本のスポーツの中で最悪の環境にあるのが、このミニバスケットボールを取り巻くものであるということ肝に銘じ、これまで当たり前のようになってきた(行われてきた)指導をもう一度振り返り、指導者の暴言・暴力を、協会、指導者、保護者(観客も含む)一体となり、子供たちに関わる全ての大人たちの協力のもと、断固たる決意で根絶することを目指すものであります。

プレイヤーズファーストが謳われております。大人たちの満足や名誉のために子供たちにミニバスケットボールをさせることのないようお願いいたします。また、「子供たちが勝ちたいというから」という大義名分を振りかざし、過度な負荷を子供たちにかかることのないようお願いいたします。(これには、指導者が保護者へ過度な負担を強いることも含まれます。)子供たちの環境は、子供たちの健やかな成長を願い、周囲の大人たちで整えます。

## 【相談窓口】

### 一般社団法人 神奈川県バスケットボール協会

電話番号 045-534-6135

受付時間 平日 10 時 00 分から 18 時 15 分まで

### 公益財団法人 神奈川県体育協会内 ☆相談窓口ホットライン

I. 電話番号 045-314-0010

受付時間：平日の火曜日及び金曜日の9時～16時30分(週2日)

II. 相談内容の範囲

- (1)身体的・精神的暴力行為等に関する事
- (2)身体的・精神的セクシュアルハラスメント及びパワーハラスメントに関する事
- (3)ドーピング防止及び薬物乱用に関する事
- (4)不適切な経理処理及び不正行為に関する事
- (5)その他、法令違反に関する事

III. 利用対象者

- (1)神奈川県体育協会加盟団体の登録者及びその関係者等
- (2)神奈川県スポーツ少年団の登録者及びその関係者等
- (3)神奈川県総合型スポーツクラブネットワークに加盟している総合型 地域スポーツクラブ関係者等
- (4)神奈川県体育協会及び加盟団体役職員

IV. 電話以外の相談方法と受付時間

- (1)電子メール いつでも受け付けます [soum.kikaku.kanagawaken@japan-sports.or.jp](mailto:soum.kikaku.kanagawaken@japan-sports.or.jp)
- (2)ファックス いつでも受け付けます 電話番号：045-311-0637
- (3)書面 いつでも受け付けます
- (4)面会 電話相談日(火曜日・金曜日)に事前予約し、面会日は火曜日～金曜日の9時～16時30分の間

### 県教育委員会教育局 体罰相談窓口

電話番号 045-210-8315

受付時間 平日 8 時 30 分から 17 時 15 分まで

※土・日・祝日・年末年始は、受け付けておりません。

### 県立総合教育センター 24 時間子ども SOS ダイアル

電話番号 0120-0-78310 0466-81-8111

受付時間 24 時間・365 日

※いじめ以外に体罰の相談にも応じます。